

技術(機械)名:
鶏舎向けカメラAI監視システム「Dr.コッコビュー」

会社名 株式会社ドリームワンカゴシマ
連絡先メール info@dream-one.net

概要

特徴	Dr.コッコビューは、エッジでAI処理し、LPWA/3G/4G/5G/光回線などのあらゆる通信環境に対応。
	ブロイラー養鶏の動態を4K天井カメラで28秒毎に画像撮影。撮影した画像は、画像解析し、鶏の体重や活動量をAI判定。
機能	4Kカメラ同時接続: 800万画素・IP67・夜間暗視・~1,000台超
	AI画像解析: 富士通のTrackingEyeで体重推定と活動量を判定
	クラウド画面: 富士通の鶏舎管理ダッシュボードへデータ集積 異常時の5Gライブ映像: 照会画面(XProtect SmartClient)
運用	Dr.コッコビューは、28秒間隔で画像撮影(=1時間に計128回、24時間に計3,085回を撮影)し、鶏の体重や活動量をエッジAIが画像解析後、クラウドへ送信する。
	次の他社システムと連携し、飼養・衛生管理情報を統合運用。 (1)衛生環境情報: 温度、湿度、給餌器、給水器、体重計、換気ファン、細霧装置、空調制御 (2)飼養管理情報: 入雛数、出荷数、斃死(へいし)数、養鶏HACCP

効果

- 鹿兒島県は、ブロイラー(肉用鶏)の生産が全国2位で、飼育羽数27,085千羽・飼育戸数381戸・1戸当たり平均飼養羽数71,089羽(鹿兒島県農政部、2021年2月時点)。
- ブロイラー養鶏の経営課題は、生産鶏舎の大型化と伝染病への防疫管理体制の強化である。
- ブロイラー養鶏の経営体は、直近21日間の平均死亡率が2倍を超えた場合、家畜保健衛生所に通報する義務がある。
- ブロイラー養鶏の経営体は、1鶏舎当たり数万羽を数名の従業員で管理し、健康異常の早期発見や死亡鶏の回収と数量を記録し、また通常業務の給餌・清掃・入出荷を行う。
- 鹿兒島県の1戸当たり平均飼養羽数71,089羽の死亡数(試算)は、1日当たり約57羽である。(=71,089羽のうち、96%が育成し、50日後に出荷で試算)。
- 本システムの導入により、ブロイラー養鶏生産コストの10%削減と死亡鶏の異常増加を12時間以内に探知することを目指している。

写真、図表等

プロトタイプ

4K・IPカメラ
AI・画像解析
24H・飼養監視
5G・ライブ配信



鶏舎向けカメラAI監視システム

Dr.コッコビュー

スマート畜産による精密飼養で、鶏の発育・体重・活動量を監視して、健康異常を早期に発見し、また飼養衛生管理業務を省力化し、高生産性のブロイラー養鶏を支援します。

01 4Kカメラの同時接続



800万画素・IP67・夜間暗視・~1,000台超

02 飼養のAI画像解析



体重推定・活動量・富士通TrackingEye

03 富士通クラウド・数値



鶏舎内環境・生育指標・画像・アラート

04 富士通クラウド・グラフ



体重・減耗羽数・給餌量・給水量

Provided by 株式会社ドリームワンカゴシマ

